

第2回

新しい本庁舎等における区民利用施設の 運営を考える区民ワークショップ

令和4年11月5日（土）14：00～16：00

世田谷区役所 第3庁舎3階 ブライトホール

「いつでも使いやすい」を考えよう

参加にあたっての諸連絡

- 本日は記録のため、スタッフが会場内の様子を撮影いたしますので、予めご了承ください。また、本日の記録は、区のホームページや広報、ニュースレター等に掲載する予定です。
- 携帯電話・スマートフォンは、電源を切るか、マナーモードに設定の上、通話をご遠慮ください。また、写真撮影や録音もご遠慮ください。
- ワークショップ開催中はマスクのご着用をお願いします。水分を補給された後は、忘れずにマスクを戻してください。
- 会場後方に検討委員会委員、区民の方が傍聴として参加しています。
- ワークショップ中は、検討委員やスタッフなどが巡回して見学をさせていただきます。

本日のタイムテーブル

予定時間	内容	所要時間
14:00~14:05	ごあいさつ	5分
14:05~14:15	ワークショップについて ・検討テーマ ・事例紹介	10分
14:15~15:30	グループワーク 14:15~14:45 ラウンド1 (移動・消毒) 14:50~15:10 ラウンド2 (移動・消毒) 15:15~15:30 ラウンド3	75分
15:30~15:50	グループ発表 (1チーム4分程度)	20分
15:50~16:00	次回予告・なんでもアンケートの記入等 ニュースレターの名前発表	10分

はじめに・・・区民意見の反映状況

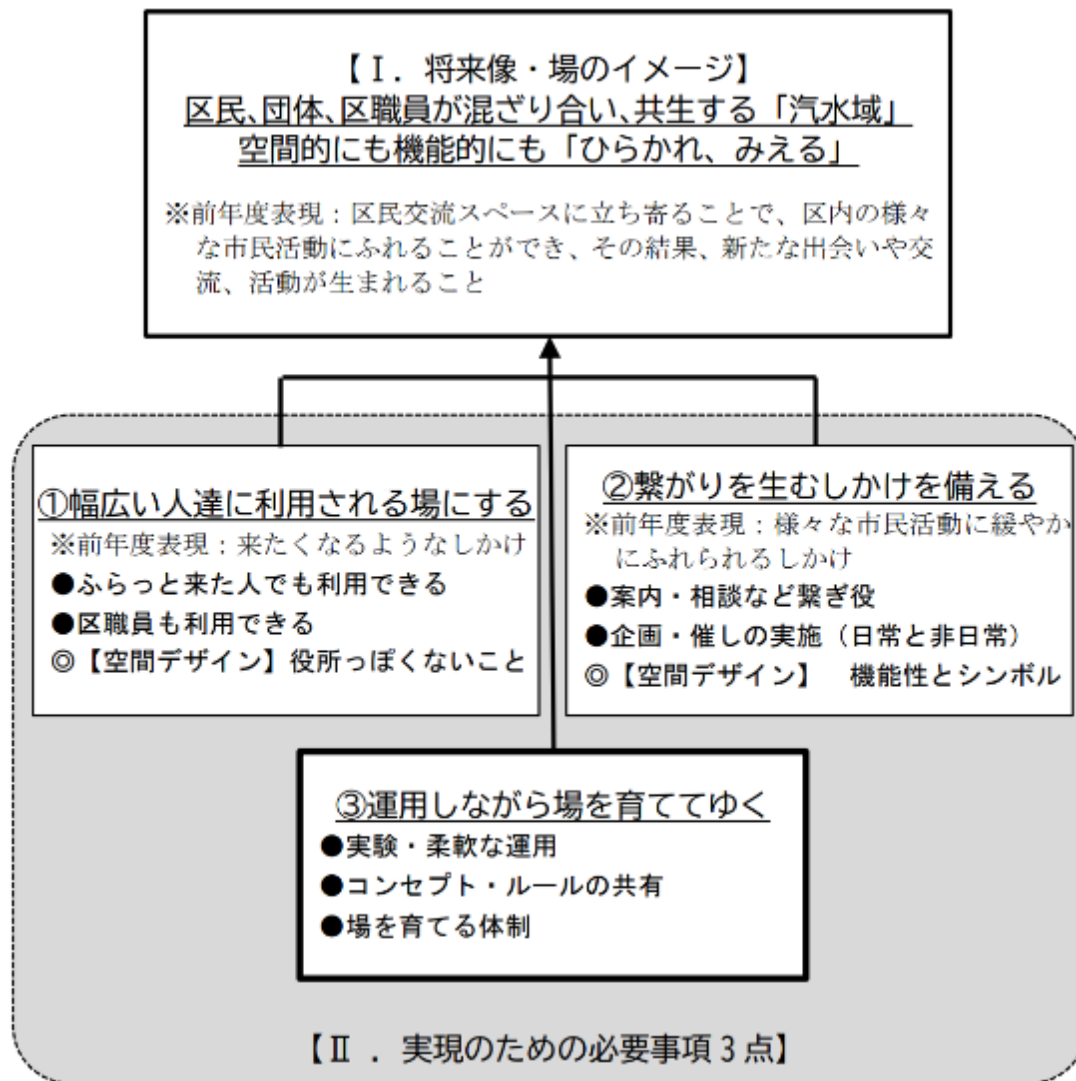
前回の「なんでもアンケート」にて、「ワークショップでの意見交換が、過去にどう生かされてきたか教えていただけると嬉しいです」というコメントをいただいたので、区民利用施設に関するワークショップの反映状況をご報告します。

■これまでの検討経緯

時期	内容
平成28（2016）年12月	本庁舎整備基本構想策定
平成30（2018）年11月	区民交流機能に係るワークショップ開催 （計2回、公募による区民等延べ36名が参加）
平成30（2018）年12月	世田谷区民会館整備方針策定
平成31（2019）年3月	本庁舎等整備基本設計策定（世田谷区民会館整備方針含む）
令和元（2019）年6～7月	区民交流スペースの運用に関する検討会開催 （計3回、知見・経験者、区職員等延べ74名が参加）
令和2（2020）年3月	本庁舎等整備実施設計概要とりまとめ
令和3（2021）年7月	区民会館エリア工事着工

はじめに・・・区民意見の反映状況

■区民交流スペースの運用に関する検討会 提案 全体概要 (区民交流スペースの運用に関する検討会 提案書P5より抜粋)



はじめに・・・区民意見の反映状況

これまでのワークショップでご意見のあった中から、主に以下の点が「[本庁舎等整備実施設計概要](#)」に設計として反映されています。

- ・周囲をガラス貼りとし、壁等を設置しない「ひらかれ、みえる」場所とする
- ・様々な利用方法に対応できるよう、フレキシブルな空間とする
- ・キッチン付きの区民交流室を設ける

区民利用施設の「総合運営計画」は、過去の検討も取り入れながら令和4年度より作成を進めています。

現在みなさんにいただいているご意見やアイデアも、検討委員会のご意見とともに、

「総合運営計画」の基本理念や事業、利用ルール、組織等において参考としていきます。



本日の検討テーマ

「いつでも使いやすい」を考えよう

前回のやりたい活動などのご意見を踏まえて…

区民利用施設のなかでも、とくに多くの人の目にとまる

「広場」と「区民交流スペース」について、
さまざまな人がいつでも思い思いに訪れ、使えるように、
「日常」と「非日常」の使い方を考えてみましょう！

今回は下記の4つのグループに分かれて、「ワールドカフェ形式」で
意見交換をしていただきます！

広場の「日常」

区民交流スペースの
「日常」

広場の「非日常」

区民交流スペースの
「非日常」

※前回の予告から内容を変更いたしました。

第1回ワークショップでの議論が非常に盛り上がりましたので、
今回はそこから一步踏み込んだ議論を行いたいと思います。

検討のポイント

第1回のニュースレターに書かれた、「新施設でやりたい事業・活動」を
ご覧いただきながら、ご検討ください。

○「日常」：いつもの使い方

ご自身が日常的に訪れるときは、「広場」「区民交流スペース」の
どのあたりを、いつ、どんな用途に使用しますか？

- ・ひとりまたは友達とふらっと訪れ、時間を過ごす
- ・市民活動やまちづくり活動などの会議をする
- ・子どものお散歩・休憩場所・・・など

日常的に集まる様々な利用イメージを想像してみてください！

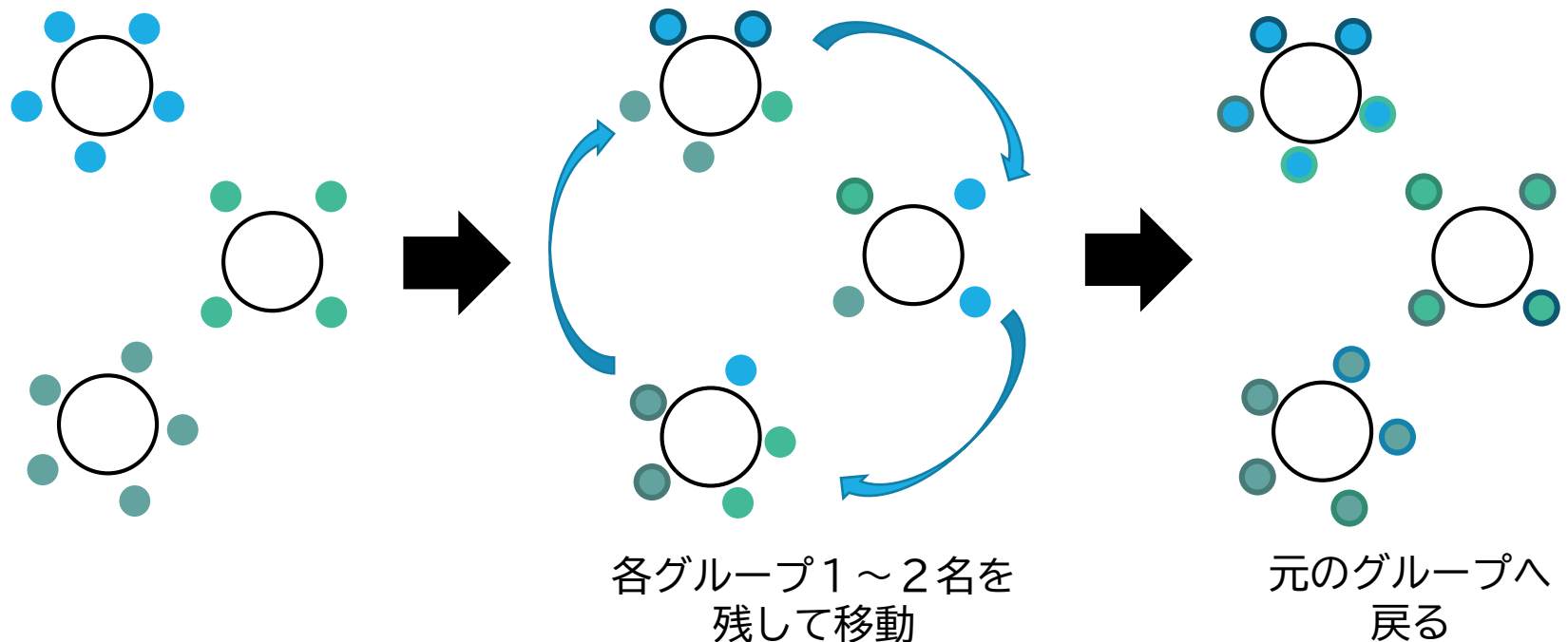
○「非日常」：大きなイベントの利用があるときの使い方

「広場」「区民交流スペース」それぞれどのあたりで、いつ、どれくらい
の頻度で、どのイベントをやりますか？

「ニュースレター」に書かれた多様なイベントを開催するときの
風景を想像してみてください！

グループワークの流れ

より多くの人と話し合いたいというご意見もありましたので、今回は、「ワールドカフェ形式」で意見交換をしていただきます。ワールドカフェ形式は、メンバーの組み合わせを変えながらグループワークを行うことで、参加者全員の意見や知識を集める対話手法です。

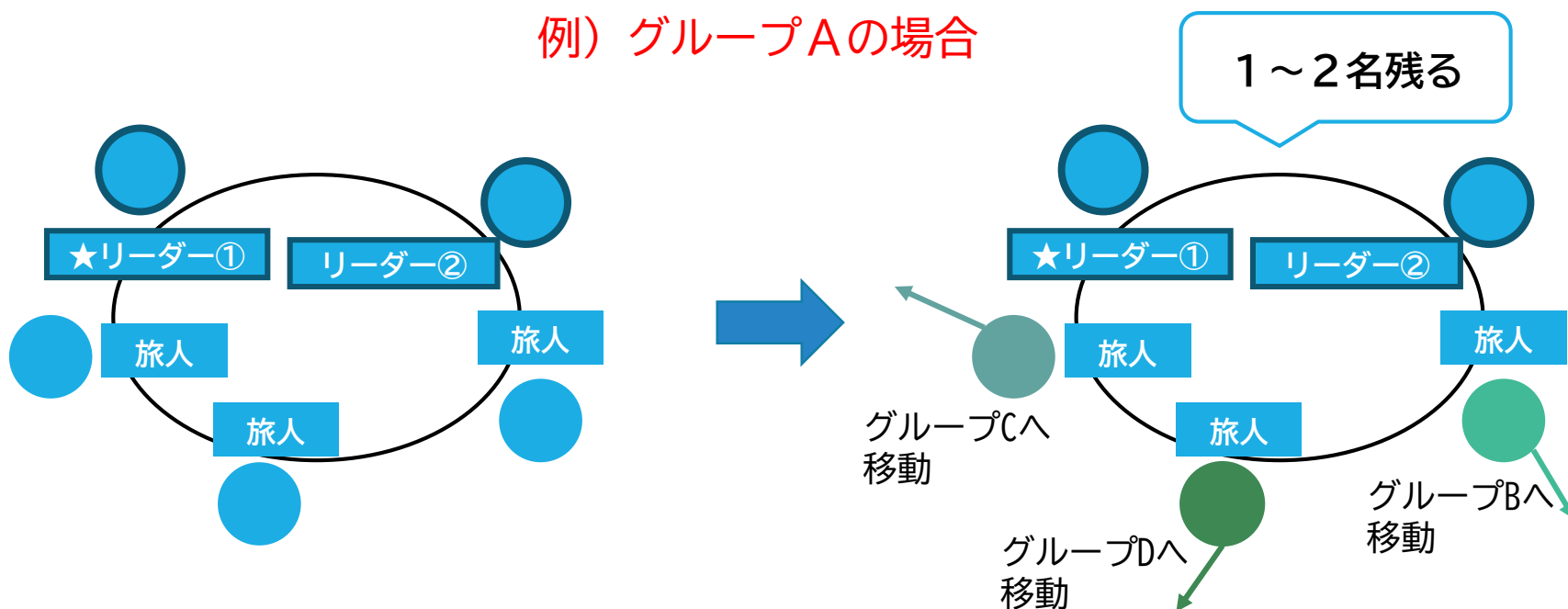


グループワークの流れ

ラウンド1

1. 自己紹介（アイスブレイク）
2. テーマについて個人で考える
3. グループで考える
4. リーダーを1名～2名残し、他のグループに1～2名ずつ分かれて移動する（旅人、といいます）

例) グループAの場合

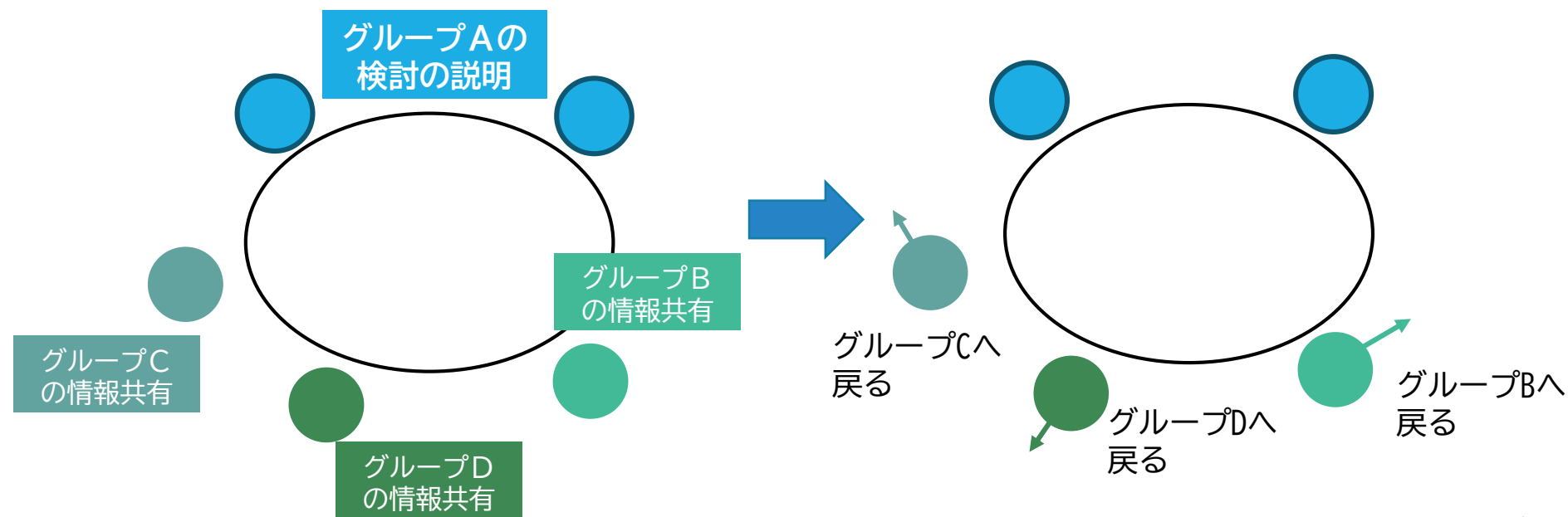


グループワークの流れ

ラウンド2

1. 残った1～2名が話し合った内容を移動してきたメンバー（旅人）と共有する。移動してきたメンバー（旅人）は、前にいたグループの内容を共有する
2. それぞれがラウンド1で話し合ったことも参考にしながら、さらにアイデアを膨らませていく
3. 元のグループに戻る

例) グループAの場合

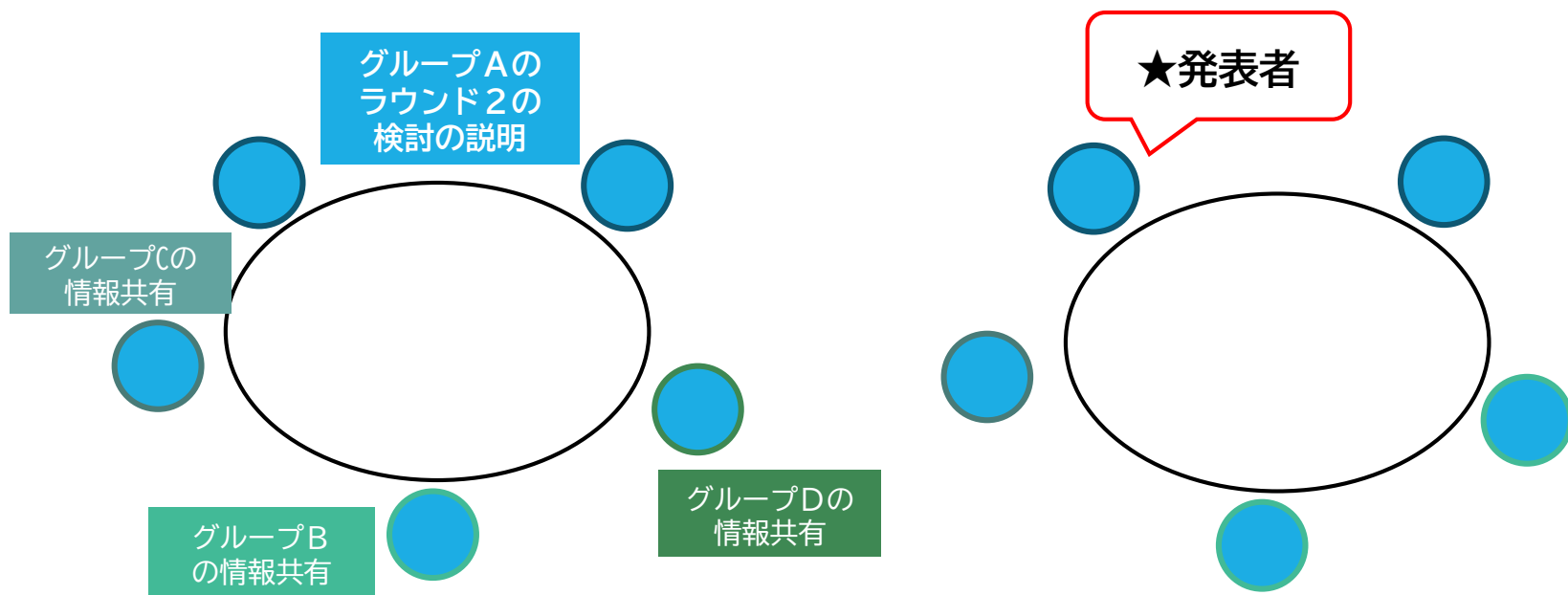


グループワークの流れ

ラウンド3

1. ラウンド2で追加されたアイデアを、戻ってきたメンバーに共有する。他のグループに行っていた人は、そこでの話し合いを共有する。
2. 共有した内容をもとに、さらにアイデアを追加し、発表に向けてアイデアをまとめていく。
3. 名札に★のついた人が発表します！

例) グループAの場合



グループワークの流れ

各ラウンドのテーマ

1	30分	<p>広場の「日常」グループ 区民交流スペースの「日常」グループ</p> <p>どのあたりで、誰が、いつ、どんな時間を過ごしていますか？ 目的に適した使いやすい場所を選んで付箋を貼りましょう！</p> <p>広場の「非日常」グループ 区民交流スペースの「非日常」グループ</p> <p>どのあたりで、いつ、どんなイベントをしますか？ イベントをやるといい場所に付箋を貼りましょう！</p>
2	20分	<p>広場の「日常」グループ 区民交流スペースの「日常」グループ</p> <p>ラウンド1の過ごし方を実現するために何が必要ですか？ 色の違う付箋に、必要なものなどを書いて、ラウンド1の付箋にくっつけましょう！</p> <p>広場の「非日常」グループ 区民交流スペースの「非日常」グループ</p> <p>ラウンド1のイベントを実現するために何が必要ですか？ 色の違う付箋に、必要なものなどを書いて、ラウンド1の付箋にくっつけましょう！</p>
3	15分	<p>まとめ！ ラウンド1・2を見直して、 どんな「日常」「非日常」の使い方がいいか、 意見交換をしましょう。</p>

グループワークの流れ

付せんへの記入イメージ

広場の「日常」グループ

区民交流スペースの「日常」グループ

どのあたりで、**誰が、いつ、どんな時間**を過ごしていますか？

ラウンド1

近くに住む人が
日中に
野外でゆっくり
過ごす

区の職員や
近くで働く人が
毎日
キッチンカーで
お昼ご飯を買う

中学生、高校生が
放課後に
勉強する

親子で
平日に
遊ぶ場所

ラウンド1の過ごし方を実現するために何が必要ですか？

ラウンド2

晴れの日も休めるよう
にパラソルを出す

キッチンカー専用の
エリアを作る

常に勉強ができる
スペース
(机と椅子)

いつでも休憩
できるスペース
(椅子)

今日のキッチンカー
のメニューを
Twitterで発信

ときどき、一緒に
遊んでくれる人が
いるといい

必要な家具や備品だけでなく、

- ・どう使えるスペースが必要か
 - ・どんな情報があるといいか
 - ・どんな人たちがいたら続いていきそうか
- といったことも「必要なもの」に含まれます

グループワークの流れ

付せんへの記入イメージ

広場の「非日常」グループ

区民交流スペースの「非日常」グループ

ラウンド1

どのあたりで、いつ、どんなイベントをしますか？

年4回、
季節ごとに
旬の野菜の
マルシェ

月に1回ほど
広場全体を使って
おまつりやフェス
ティバルを実施

毎月1回、
金曜日の夜に
映画上映会

年1回、
部活の発表。
ふらっと来た人に見てもらいたい！

ラウンド2

ラウンド1のイベントを実現するために何が必要ですか？

マルシェ用の台

賑わいを生む催し
には全体を貸出
できる

大きな
スクリーン

開放的な
展示スペース

出店希望者を
まとめたり
調整してくれる
開催団体

せたPayで支払える
ようにして
クーポンとか還元が
つく

上映作品を選ぶ
映画会の
プロデュース団体

ここで行われる
イベント情報の
発信ツール

グループワークの流れ

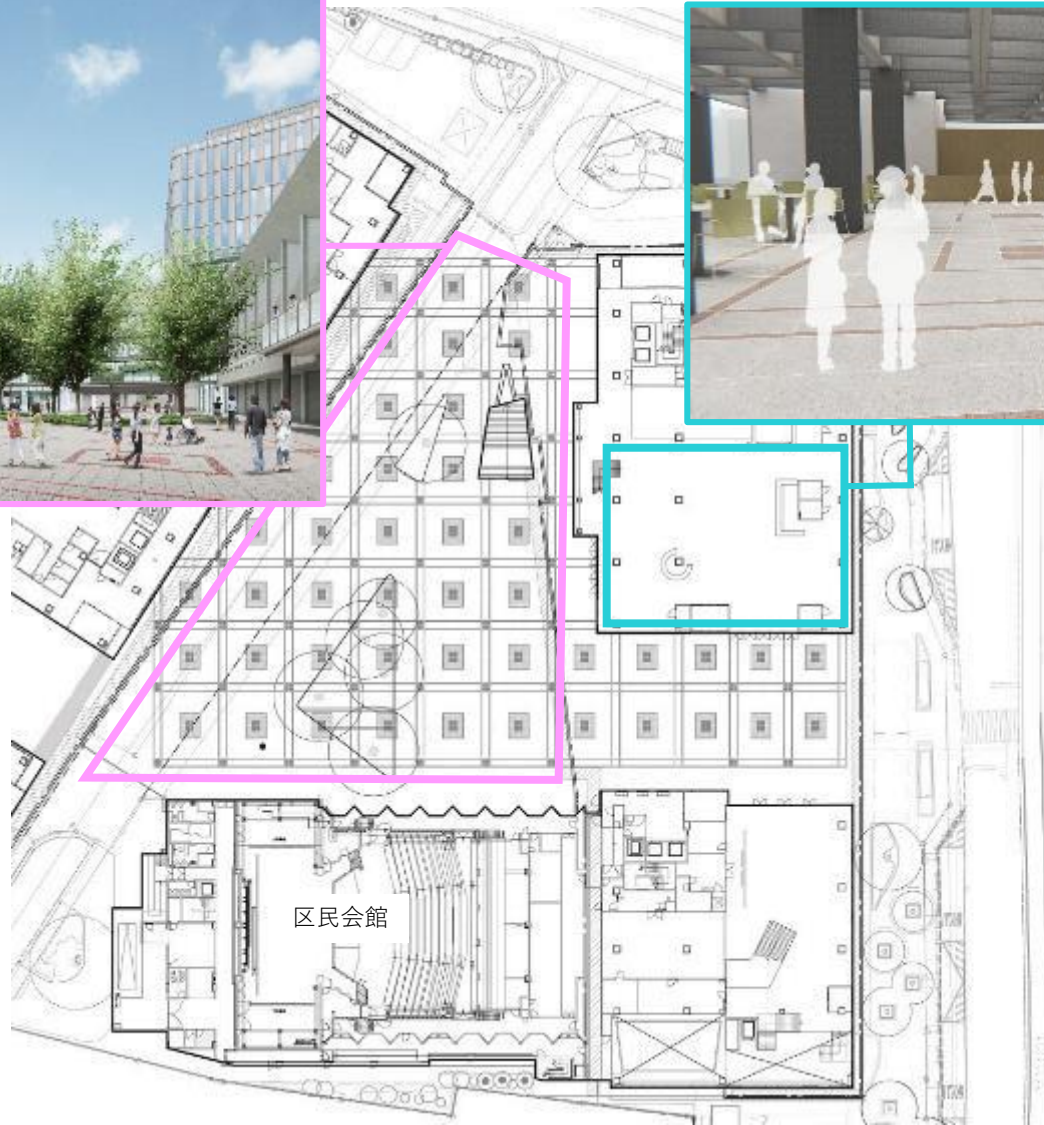
順序		時間 (目安)	進め方
ラウンド1	自己紹介（アイスブレイク）	5分	簡単な自己紹介と併せて、以下についてお話しください。 ・秋と言えば！（食欲の秋？文化の秋？スポーツの秋？）
	テーマについて個人で考える	10分	個人で思いついたことを 1意見1枚 、付せんを書いてください。
	グループで考える	15分	1) 集める だいたい意見が出たら、付せんを動かして 同じ意見・似た意見を集めたり、相反する意見をわかりやすく配置したり 、ペンを使って 類似意見を丸で囲んでキーワードを記す などして、全体の傾向をみてみましょう。 2) 話し合う お互いの意見を <u>聞きあって</u> 、メモに書いてあることの意味を理解しましょう。 どんな意見が出たかをみんなで把握する ことが重要です。 これまでの意見のやりとりで不明なところがあれば確認しましょう。
～グループ移動（5分）～			
ラウンド2	移動後のグループで考える	20分	ラウンド1から同じグループにいる方は、移動してきたメンバーに、ステップ1で出たアイデアや話しあったことを共有してください。各グループでのラウンド1のアイデアをもとに、更にアイデアを出し合ってください。
～元のグループに戻る（5分）～			
ラウンド3	元のグループでまとめる	15分	ラウンド1のグループに戻って、ラウンド2で追加されたアイデアを共有しましょう。アイデアを基にエリア分け等を実際に書き入れてみてください。
発表する		20分	名札に★マークのある方に話し合った結果を全員の前で発表していただきます。（1人4分程度）

検討いただくエリア

広場

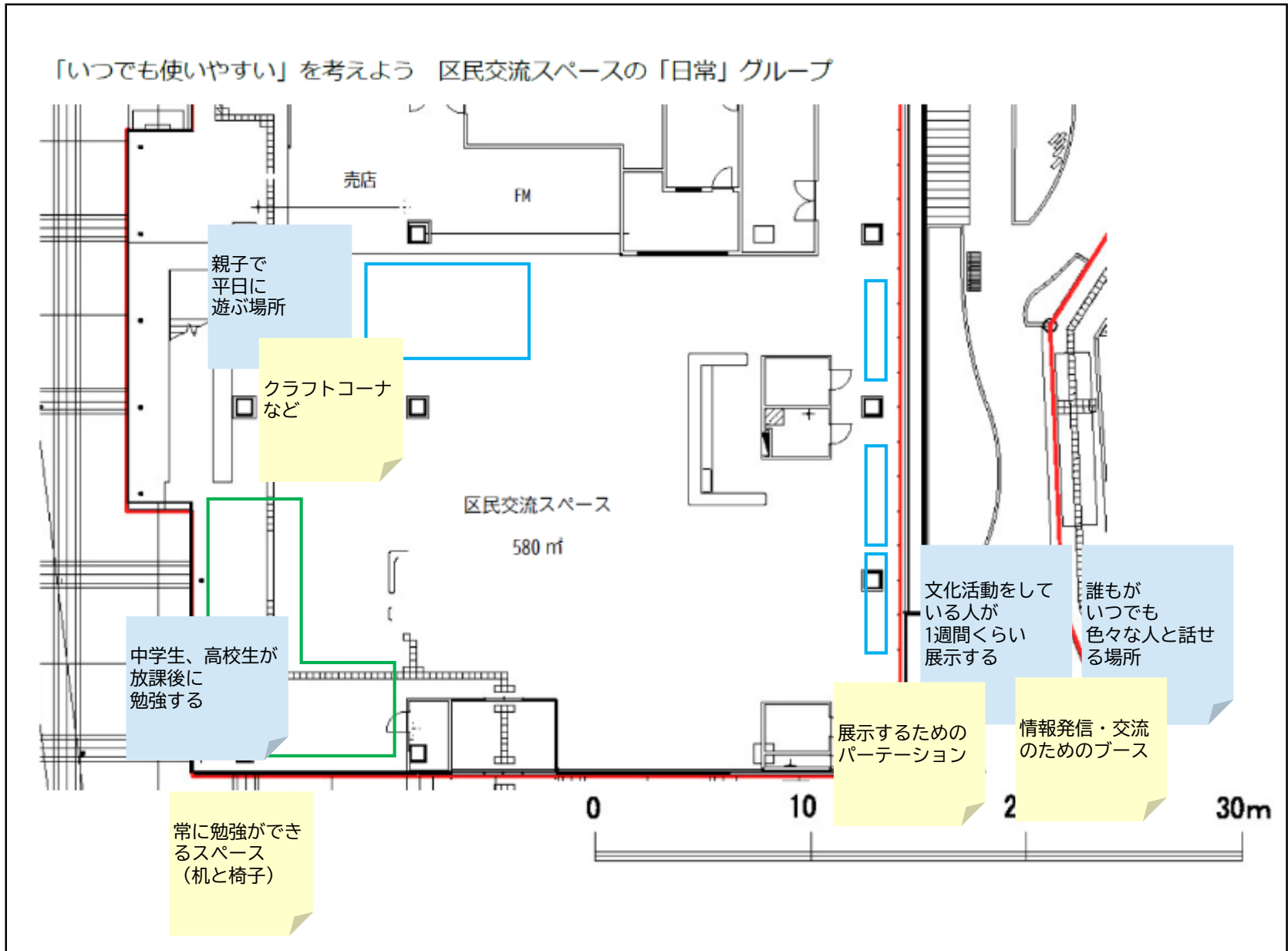


区民交流スペース



区民会館

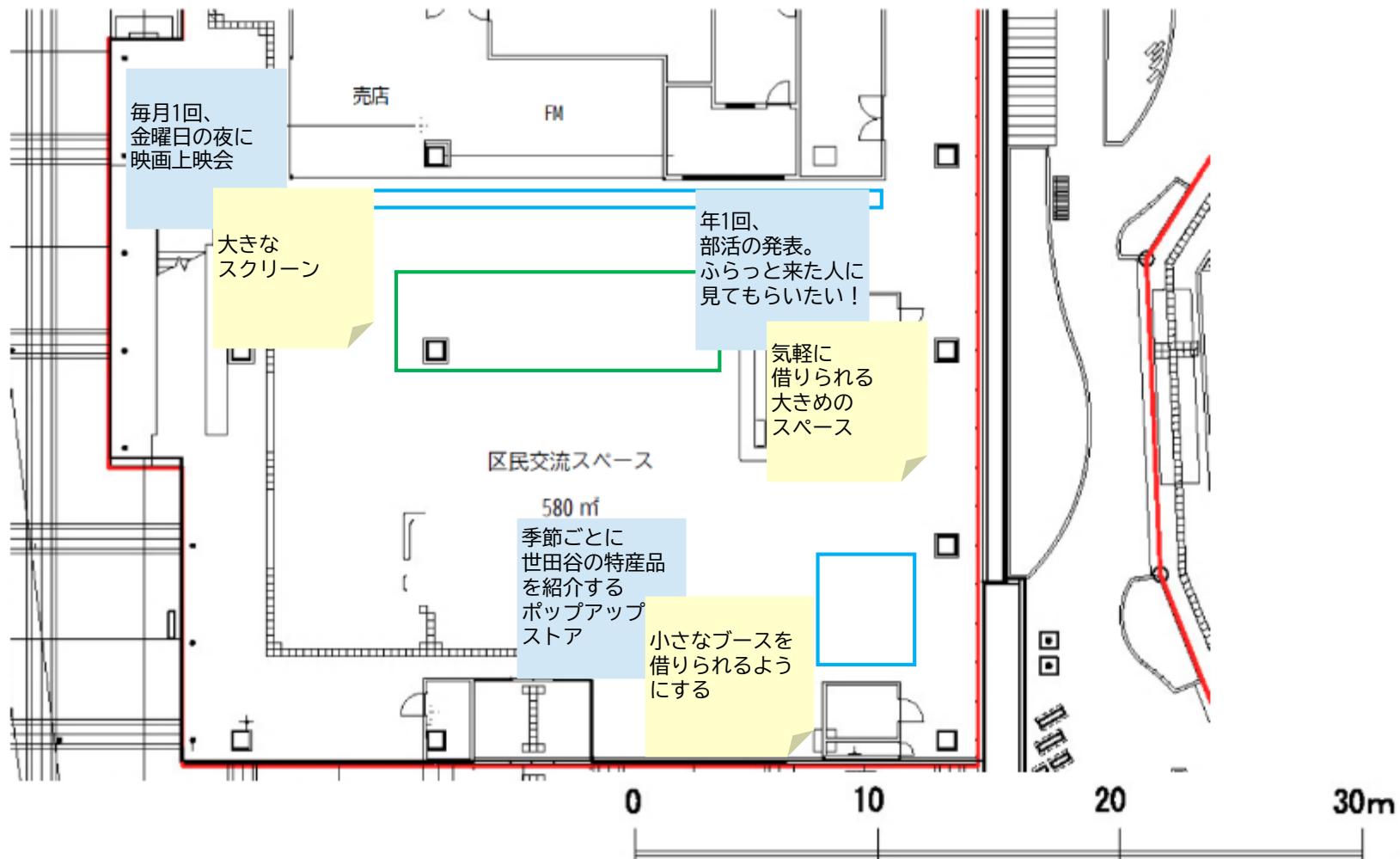
作業イメージ 区民交流スペースの「日常」



作業イメージ 区民交流スペースの「非日常」

○区民交流スペースの「非日常」を考えよう

「いつでも使いやすい」を考えよう 区民交流スペースの「非日常」グループ



ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、
どんどん意見を出してみる。

ひ

否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

普通の意見も、少し変わった意見も、
まずは発言してみる。

へ

へえ！それ、いいね！真似してOK！
便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

感染拡大防止のためのお願い

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
- 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
- 残った飲み物のペットボトルなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。
- 終了後、名札、アンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。（受け渡しをしない）

事例紹介

事例紹介

渋谷キャスト 広場

オフィス、住宅、多目的スペースや飲食店等、多様な用途を兼ね揃えた、クリエイティブ活動の拠点。
にぎわいと憩いの場として、四季によって異なる表情を見せる緑に囲まれた広場を設けている。

日常



平日は毎日複数のキッチンカーが設置され、周辺エリアで働く人たちで賑わっている。

みどりの中には曲線を描くベンチを設置。食事をする方やウェブ会議をする方など、様々な方が思い思いの過ごし方をしている。



非日常



区主催のプログラムから、デザイナーによるマルシェ、ビアガーデン、近隣住民のための盆踊りまで、様々なイベントを実施。広場に加えて、大きな階段や併設する多目的スペースまで、一体的に活用している。



事例紹介

横浜市役所 アトリウム

横浜市役所1階に位置するアトリウムは、3階まで吹き抜けのガラス張りの開放的な空間となっている。

イベントスペースとパブリックスペース（共用部）が一体となっており、施設の活用基本方針に適合した 横浜市主催・共催・後援のイベントを実施している。

日常



イベントのない日はパブリックスペースとして開放しており、市役所に訪れた方をはじめとした市民の憩いの場となっている。

アトリウム周辺の共用部にはギャラリーや多目的スペースも設置している。



非日常



「芸術・文化のための場」として音楽会やダンスイベント、「市民の憩いの場」としてマルシェ、「イベント・式典のスペース」としてパブリックビューイング、シンポジウムなど様々なイベントを実施。大型ディスプレイや照明機器、昇降式のステージを用意し、様々なイベントに対応している。昇降式ステージは幅6m×奥行3mで、通常時は床となっている部分が電動でせり上がる。

事例紹介

アオーレ長岡 ナカドマ（屋根付き広場）

市役所、アリーナ、市民交流ホールや屋根付き広場等からなる複合交流施設「アオーレ長岡」。

屋根付き広場「ナカドマ」は気軽に集い、自由な発想で利用することができる全天候型の広場。

日常



通常時は机や椅子、パラソルを設置し、飲食や勉強、休憩等、市民が自由に使える空間となっている。平日には移動販売車の出店も行っている。

非日常



全天候型の半屋外空間で、式典や飲食イベント、パブリックビューイング等、様々な利用が可能。大型モニターも常設し、イベントに合わせて利用が可能。

事例紹介

富山市グランドプラザ

中心市街地の賑わいを創出することを目的にオープンした、ガラス屋根が特徴の全天候型の広場。

各種イベントに対応できるよう、大型ビジョンをはじめ様々な設備が導入されている。

日常



富山県最大の商店街に面した土地を「広場」とし、多くの方が行き交い、交流する場としている。写真右側の「モバイルグリーン」はイベント利用時には自由にレイアウトを変更できる移動式樹木。

自主企画として、保育園・幼稚園・小学校の子どもたちが施設ごとに参加する「グランドプラザであそぼう！」を平日に開催している。

非日常



禁止事項を極力減らした「富山市まちなか賑わい広場条例」を制定し、ダンス大会から結婚式まで、様々なイベントが実施できる自由な空間とし、中心市街地の賑わい創出に貢献している。

大型スクリーンや昇降式ステージ等のイベント用設備に加え、控室として利用可能な会議室も貸出を行っている。

事例紹介

八戸まちなか広場 マチニワ

まちなかの「庭」のような役割を担う、ガラスの屋根つきのパブリックスペース。テーブル・椅子がいつもある「バスの待合い&憩いの場所」として、また、中心街にあるオープンエアの「『なにか』『だれか』に出会える場所」として、日常的に利用され、様々なイベントも行われている。

日常



シンボルオブジェ「水の樹」を中心に、ベンチやテーブルと椅子を配置し、休憩や待ち合わせスペースとして利用されている。また、ケータリングカーでの販売やストリートライブ等の小さなスペースの利用も可能で、日常的に小規模なイベントが実施されている。

非日常



スペースの中心部に「水の樹」がある特徴的な空間ながら、階段の踊り場をステージとして利用することができ、音楽やパフォーマンスの公演に使用しやすい設えとなっている。給排水栓やイベント用電源も完備し、食に関するイベントも実施可能。部分利用も可能で、規模の大小に関わらず様々なイベントが実施されている。

事例紹介

姫路駅北にぎわい交流広場

JR姫路駅前に設置された、歩行者空間を中心とした広場。サンクンガーデン、芝生広場、姫路城を望む眺望デッキ、地下通路等が組み合わさった立体的な空間となっている。

日常



姫路城の城壁やお堀をイメージした水辺があり、暖かい季節には子どもたちの水遊び場となっている。

販売行為のないイベントは1㎡あたり1日30円と、気軽に借りられる料金設定となっており、日常的にストリートライブや大道芸パフォーマンス等が開催されている。

非日常



駅から姫路城へ向かう観光の起点としての機能に加え、地下通路では手作り雑貨のマルシェや物産展をはじめとした商業イベント等も開催されている。

参考資料

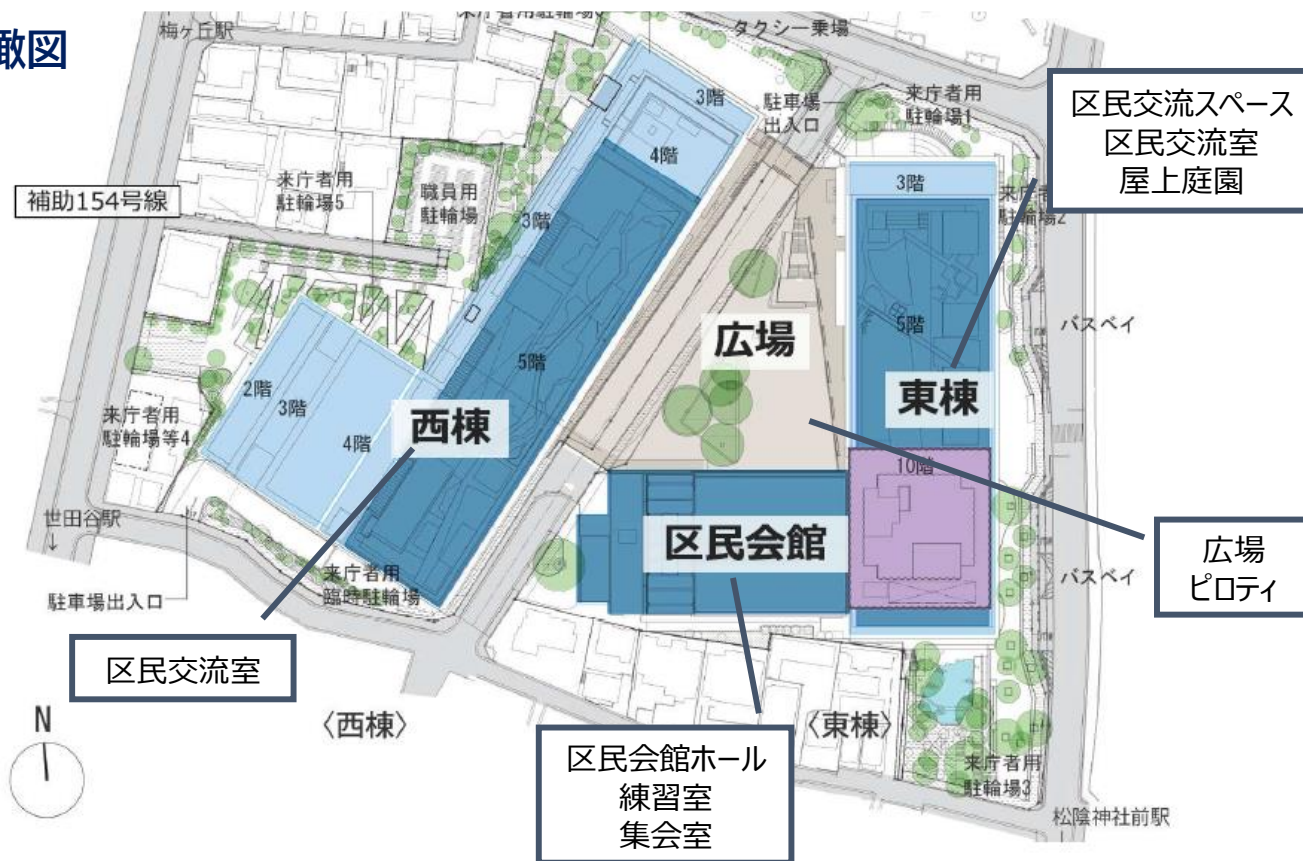
(区民利用施設概要)

区民利用施設概要

■ 区民利用施設の整備

区では新しい本庁舎等において、「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を実現するために、幅広い区民がふれあい、交流することのできる場所として区民会館、区民交流スペース、広場等の様々な区民利用施設の整備を進めています。

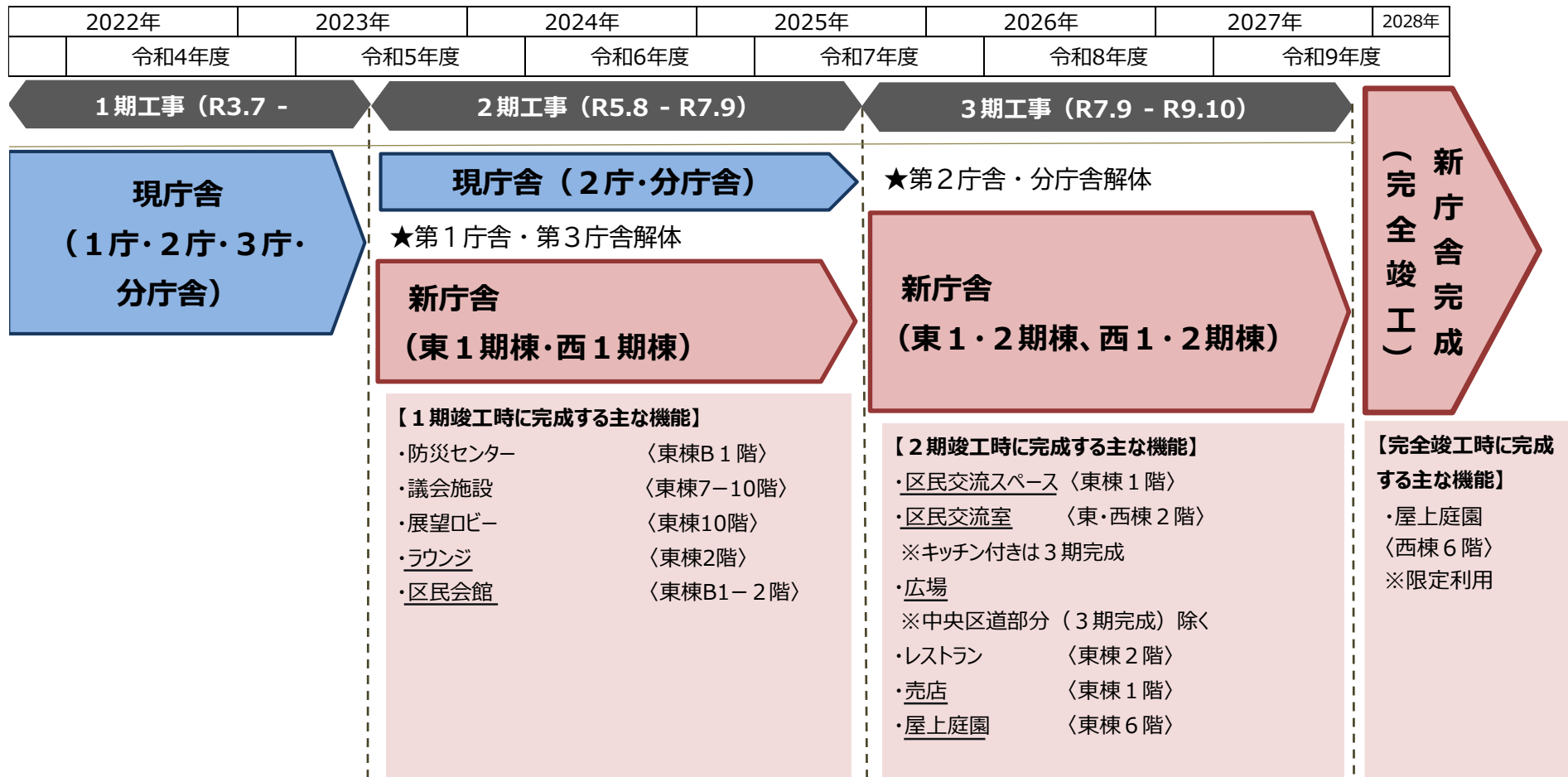
新庁舎等俯瞰図



区民利用施設概要

各施設の竣工スケジュール

※各機能の運用開始は、それぞれの準備期間を経た後となります。



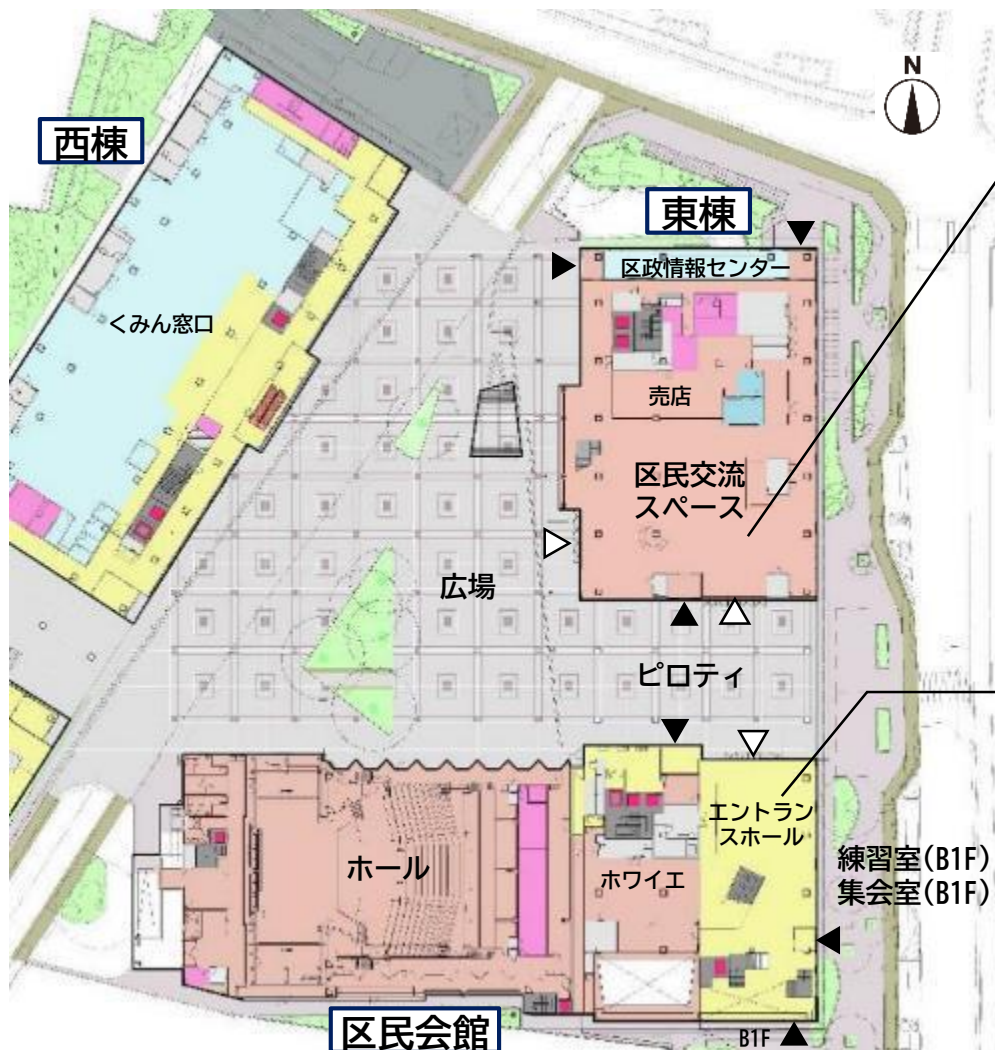
※区民会館は先行して令和5年度に竣工します。

他の区民利用施設と共に総合運営を行う令和7年度までは、委託事業者による貸館業務を行います。

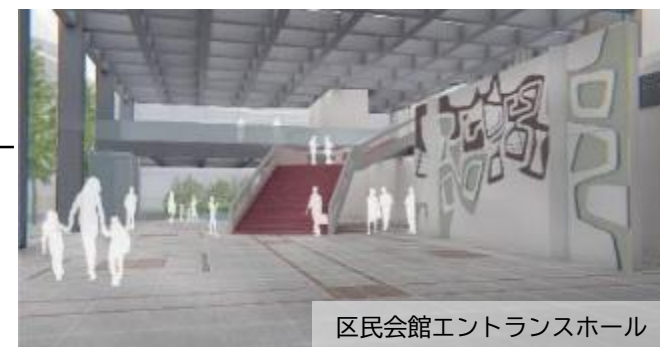
区民利用施設概要

1階平面図

区民交流スペース、広場、ピロティ等を一体的に活用することが可能な平面計画



広場やピロティに面して区民交流スペースを配置。区民会館エントランスホールを含め、一体的な活用が可能。

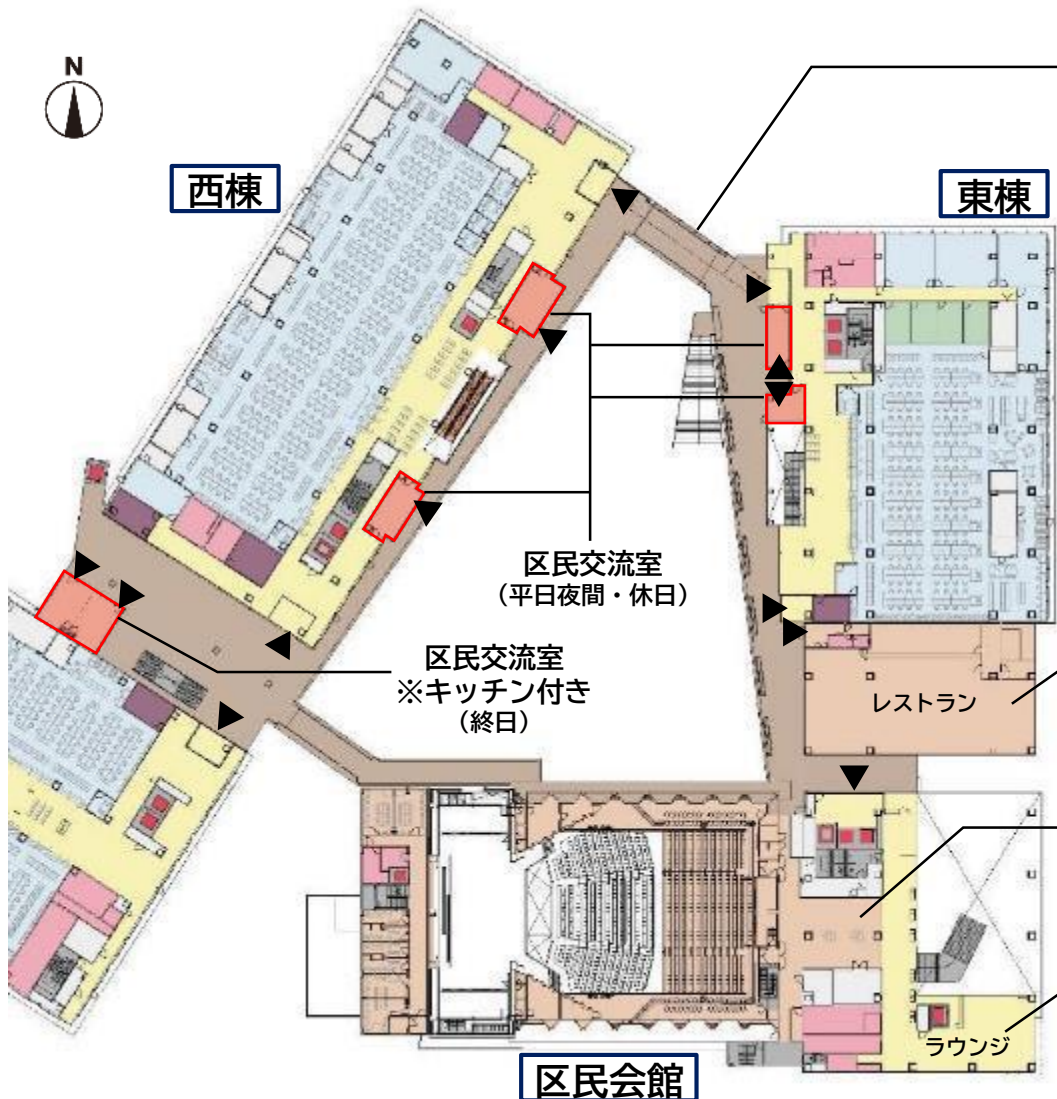


区民会館エントランスホールは、明るく開放的な2層吹抜けとし、2階には幕間にくつろぐことのできるラウンジを整備。

区民利用施設概要

■ 2階平面図

広場を2階レベルで囲んだテラス沿いに、区民交流室を設置



テラスから広場を望む

災害時は、1階広場部分が物資運搬、緊急車両等の駐車スペース、荷捌き場となるため、テラスを歩行者のための動線とし、歩車分離を図ることも可能。

窓から広場や道路沿いのケヤキの緑を望めるレストラン。

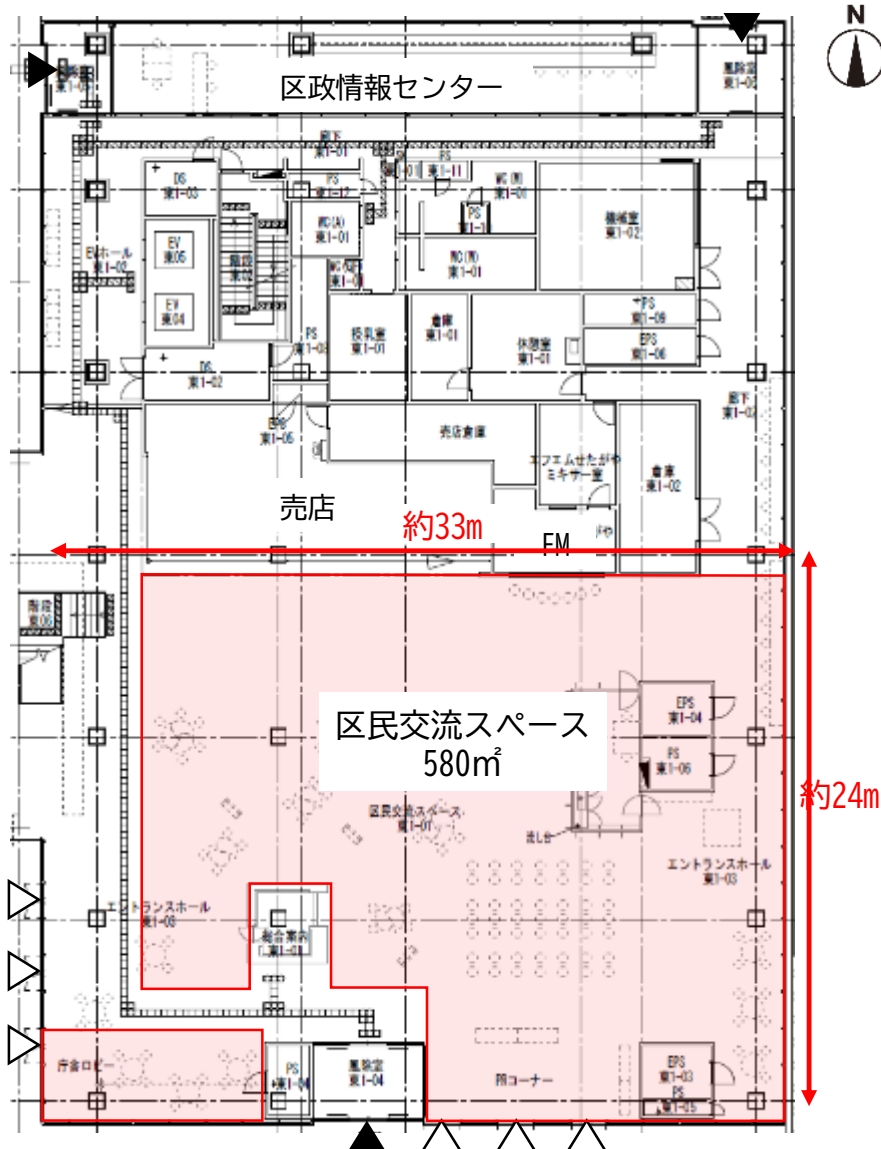
ホールホワイエには美術品の展示ケースを設置。

エントランスホールの吹抜けに面し、窓からは、サンクンガーデンが望めるラウンジ。

区民利用施設概要

区民交流スペース

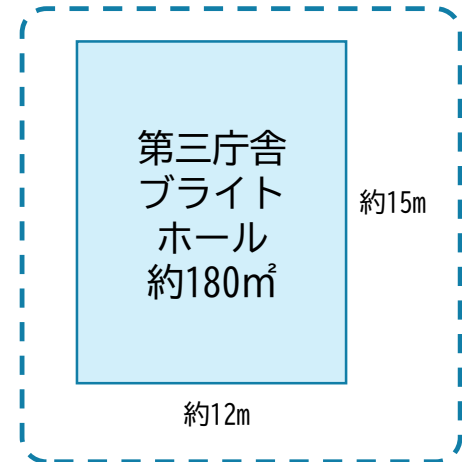
※区民交流スペースをはじめとした区民利用施設の什器、備品は今後検討します。



区民交流スペース（東2期棟1F）



- 区民交流スペース
 - ・広場やピロティに面して配置し、区政情報センター、エフエム世田谷、売店など様々な機能を設置し、区民が利用しやすいスペースとする。
 - ・区民会館エントランスホールを含め、一体的な活用が可能。



広場から区民交流スペースを望む



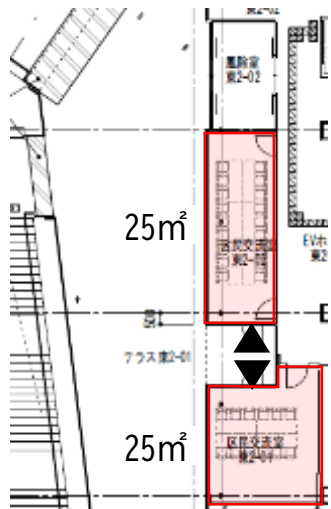
ピロティから区民交流スペースを望む

世田谷区新庁舎等完成イメージ動画より一部抜粋

区民利用施設概要

区民利用施設

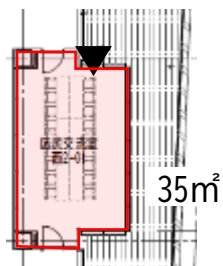
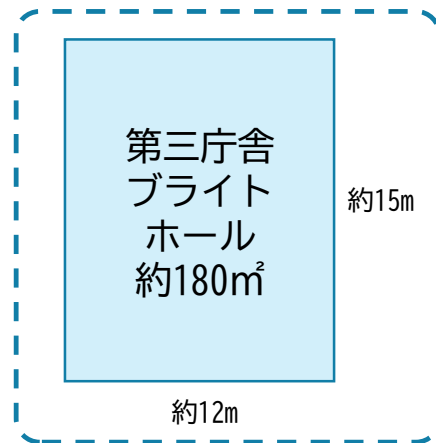
※区民交流スペースをはじめとした区民利用施設の什器、備品は今後検討します。



区民交流室
(東2期棟2F)

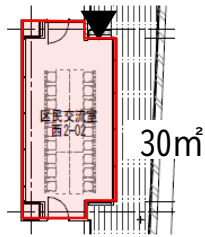
●区民交流室

- 東2期棟2階(2室)、西1期棟、西2期棟の区民交流室については、開庁時は行政の会議室として、閉庁時(夜間および休日)は区民利用スペースとして利用する。
- 西3期棟の区民交流室(1部屋)については、区民利用を終日行える。

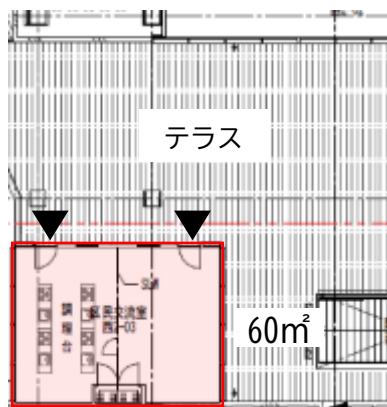


区民交流室
(西1期棟)

※2期以降供用開始



区民交流室
(西2期棟)



区民交流室
(西3期棟)

※キッチン付き



区民交流室(東2期棟)



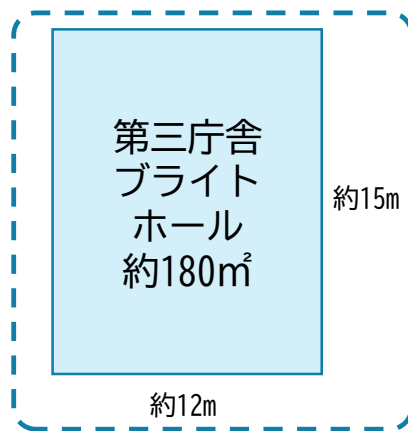
区民交流室出入口
区民交流室(東2期棟)

世田谷区新庁舎等完成イメージ動画より一部抜粋

区民利用施設概要

区民利用施設

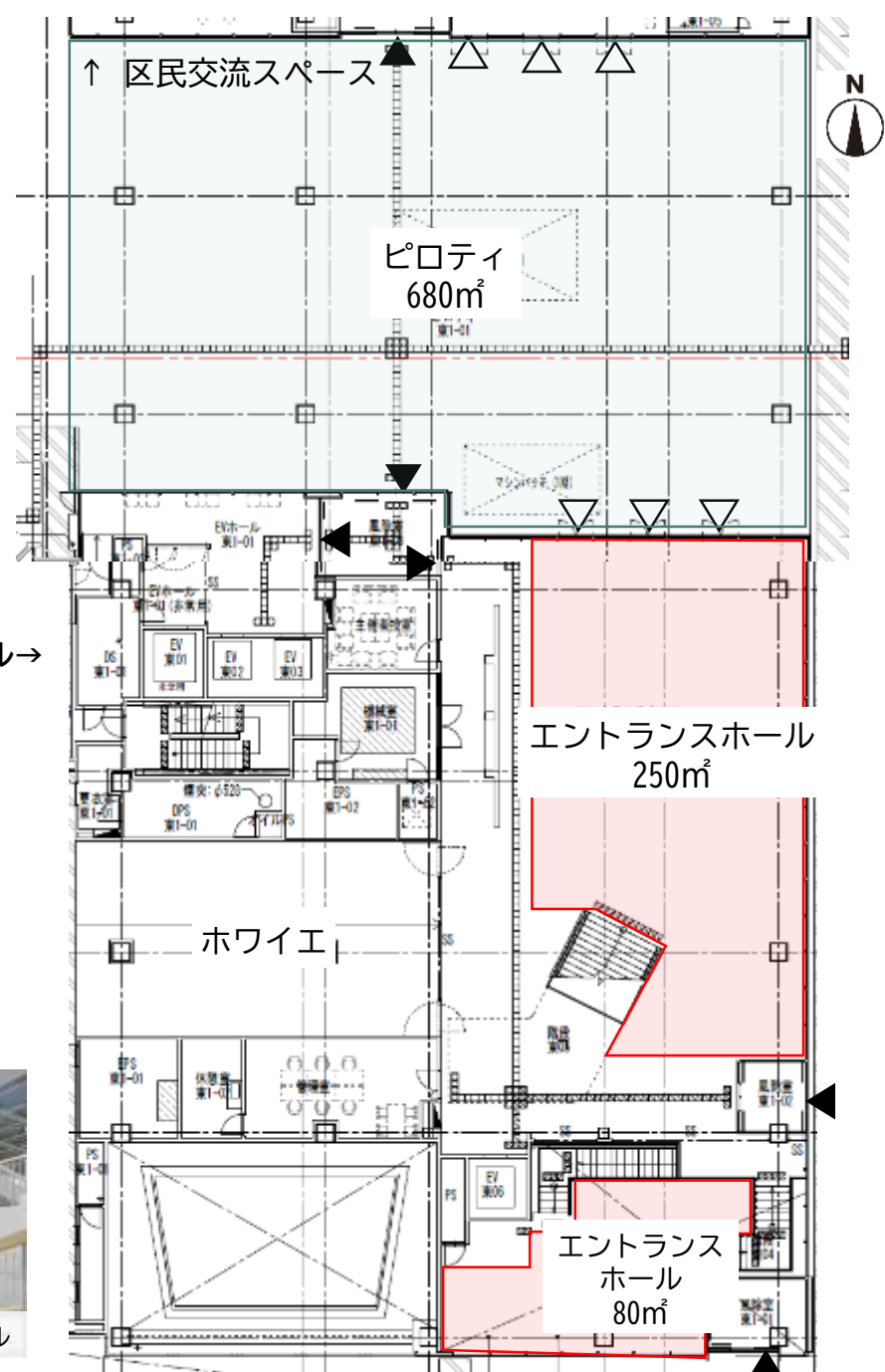
- ピロティ
 - ・ 広場へのアクセス向上、地上の動線確保のためピロティを設ける。
- エントランスホール
 - ・ 明るく開放的な2層吹抜けのスペース。



区民会館エントランスホール→
(1F)



世田谷区新庁舎等完成イメージ動画より一部抜粋

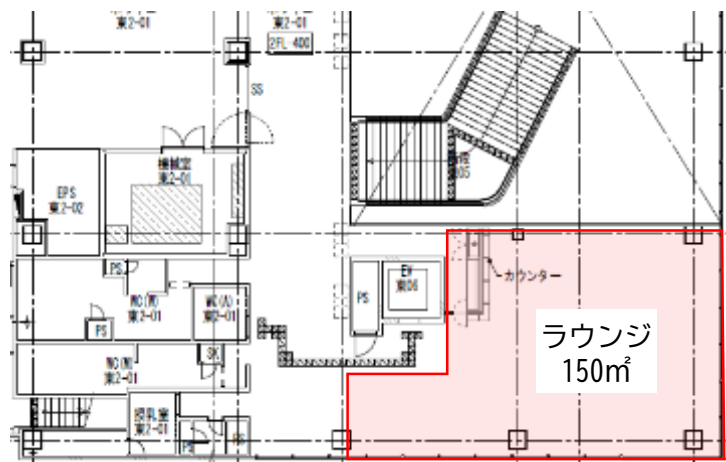


区民利用施設概要

区民利用施設

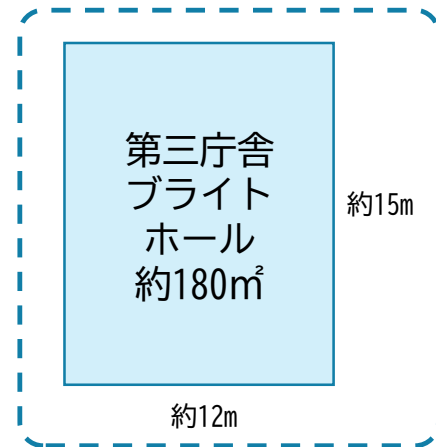


↓ ラウンジ (2F)



●ラウンジ

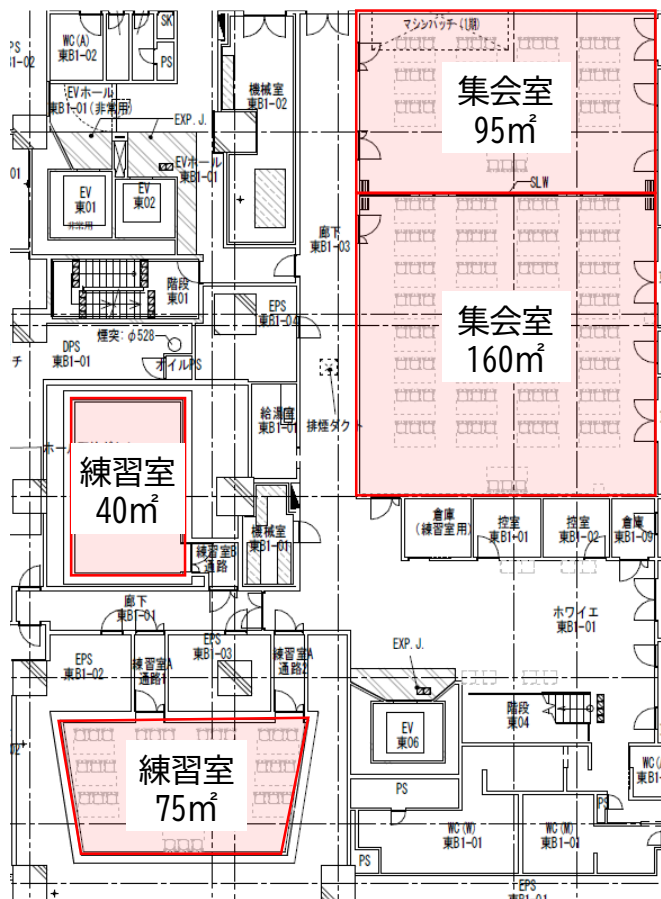
- 公演の前、幕間等に利用者がくつろぐことのできるスペース。



世田谷区新庁舎等完成イメージ動画より一部抜粋

区民利用施設概要

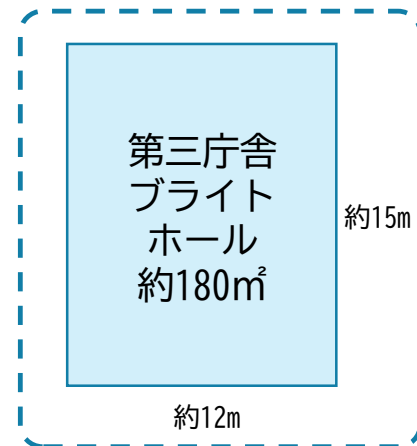
区民利用施設



区民会館集会室・練習室 (B1F)

- 区民会館 練習室
 - ・音楽演奏やダンスの練習をはじめ、様々な用途で使用されることを想定。
 - ・出入口は前室付の2重扉を配置し、十分な防音性能を備えた部屋として計画。
 - ・単独での利用のほか、ホール使用時の楽屋、控室等としての利用も想定し、観客動線とは別に、舞台への出演者動線を確保。

- 区民会館 集会室
 - ・スピーチ等の拡声をメインとした講演会や展覧会、各種会議等の用途を想定。
 - ・移動間仕切りにより、柔軟な利用が可能な計画とする。
 - ・単独での利用のほか、ホール使用時の楽屋、控室等としての利用も想定し、観客動線とは別に、舞台への出演者動線を確保する。

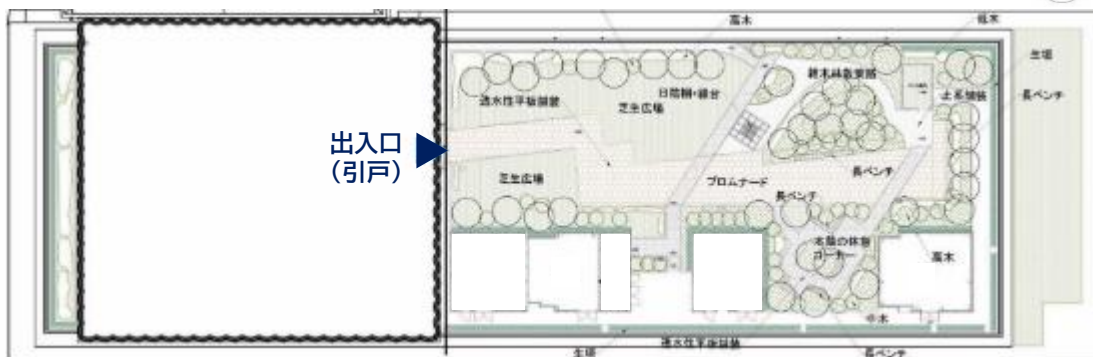


区民利用施設概要

■ 屋上緑化計画

区民利用施設

東棟 一般開放（区民等が自由に利用できる設え）



掲載画像は現時点でのイメージです。

- ・ 四季折々の花や紅葉、緑陰をつくる樹種で構成し、快適空間を創出
- ・ 休憩等の様々な利用ができる芝生広場や長ベンチを設置



芝生広場



日陰棚・長ベンチ

西棟 限定利用（野草等の保護、近隣配慮）



- ・ 世田谷区の野草を主体とし、武蔵野台地等の自然環境を切り取ったような野趣のある草原
- ・ 野草園観察路の園路を軸に、両側に野草、水辺のビオトープなどを配置



野草園観察路





ビオトープ

グループ発表

次回予告・
なんでもアンケート

ニュースレターの名前発表

今後の予定

回数	時期	テーマ	
第1回	令和4年 9月11日	新施設でやりたい事業・活動を考えよう	
第2回	11月5日	「いつでも使いやすい」を考えよう	
第3回	令和5年 1月22日	新施設開館後の関わり方を考えよう	

※テーマは変更となる場合がございます

次回予告

第1回、第2回ワークショップで検討した区民利用施設が開館した後、みなさんはどのように関わっていきたいでしょうか？

日常的な来館者、公演の観客やイベントの参加者、ここで行うイベント等のサポートスタッフ、ここを拠点にする市民活動に加わる、緑化活動に参加する、など、様々な関わり方の中から、新しい施設の区民参加を考えてみましょう！

新施設とどのように関わっていきたい？	
区民交流スペース 区民交流室	
区民会館 (ホール・練習室)	
広場や屋上庭園	

お疲れ様でした！

最後に

本日の感想や言い足りなかったことなど、「なんでもアンケート」にご記入ください。

第2回 新しい本庁舎等における区民利用施設の
運営を考える区民ワークショップ なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！